

持続可能な地域を育むには？

＼5人のキーパーソンと学びあう／

# デザイン思考から考える ESDと環境教育

持続可能な地域づくりを担う人材の育成と ESD を推進するため、  
デザイン思考をベースに探究学習を実践する青翔開智中学校・高等学校にて、  
これからの普及啓発・環境教育において求められるチカラや手法について  
学ぶあうフォーラムを、鳥取県地球温暖化防止活動推進センターと共に開催しました！

## 開催概要

日 時：2019年2月23日（土）13:30-16:30  
場 所：青翔開智中学校・高等学校  
(鳥取県鳥取市国府町)  
参加者：32名（NPO2、行政10、企業1、一般19）

## セッション1 校内ツアー＆取組紹介



## ● 織田澤 博樹 副校長 / 青翔開智中学校・高等学校

鳥取で育ったことを、武器にできる人材を育てる

「図書館の中にある学校」の考え方のもと、中央に設計された BOOK BASE と、張り巡らされた Wi-fi ですぐにインターネットが使えるという、どこにいても情報につながれる環境に、生徒の好奇心と創造力を増幅させていく仕組みを実感。掲示されている生徒さんの論文に、参加者は「これは高校生が書く文なのか！」と目が釘付け！取組紹介では、青翔開智の教育方針「創造力をスパークさせ、鳥取そして世界の課題を解決できる人材を育てる」や、探究基礎の教育課程についてお話をされました。

## セッション2 ゲストトーク



## ● 中前 雄一郎さん / サケの飼育放流プロジェクト

絶対に押しつけはしない。まず相手を認めること！

鳥取県内で数多くのプロジェクトを実施し、自ら課題解決に取り組む中前さん。笑いが満ちたお話で、会場内もグッと温かい密度の濃い雰囲気になり、どうやって活動の仲間を作っていくか？という点に関心が寄せられました。「自分もメンバーも楽しむ」「対立する状況でも、お互いに理解し合えるよう調整し、落としどころを探る」等々、参加者のお悩み解決のヒントが、たくさん浮き上がってきました。



## ● 山本 秀樹さん / 元ミネルバ大学日本連絡事務所

アイデアの基：今やっていることをどう減らすか？

国際的な教育の動向に詳しい山本さんからは、「なぜ今、課題解決型学習が必要なのか？」という視点から、今から必要とされる“人間”が行う仕事をする能力を培うため、という明確なビジョンが共有された後、実際の世界の教育現場が紹介されました。「何か新しいことをする時は、『捨てる→減らす→増やす→加える』のプロセスが必要」というお話は、教育現場のみならず、どの組織にも共通する発見です！

● 高橋 敬子さん / 立教大学社会学部教育・研究コーディネーター  
立教大学ESD研究所

ポイントは、ポジティブ&amp;自己効力感

ミステリーという、ドイツの気候変動教育プログラムと一緒に開発されている高橋さんからは、学び手に見つけてほしいチカラや、学んだことを行動に移すプログラム作成のポイントについて、濃縮したレクチャーがされました。「ネガティブではなく、ポジティブな言葉・内容へ」「自己効力感を感じられる行動への参加」などは、誰にとっても普段の取組に取り入れやすい点です。

## セッション3 ワークショップ

参加者が 1 番興味のある＆お悩み相談をしたいキーパーソンの元に集まり、グループで意見交換や相談をしました。

ぜんぜん時間が足りません！！！



## ま と め

参加者からは、「自ら課題を捉え解決する力を育む教育の生の話を伺うことができて、有意義だった」「共通点は、探究による問題解決と創造力」等々とコメントをいただき、持ち帰って実践するエッセンスを学んでいただけたようです。また、フォーラム終了後もゲストや参加者が話し込んでいたことから、交流の機会の需要が高いことも伺えました。一方で、「知らない事の多さにびっくりしたが、知る必要があるのかどうかも考えさせられた」という感想もあり、学びを自分ごとにするイメージが難しい参加者の様子も伺え、運営側に企画の工夫が必要なことが今後の課題となりました（『新たな問い』ができたのは、探究学習的には大成功！）。ゲストや参加者の皆様のおかげで、笑顔の絶えない明るいイベントとなりました。

2019 年は、山口県で ESD 学びあいフォーラムを開催する予定です！

共 催  
お問合せ

環境省中国環境パートナーシップオフィス (EPOちゅうごく)・中国地方ESD活動支援センター  
TEL: 082-511-0720 Eメール: info@epo-cg.jp  
住所: 730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル5階